

「食の安全・安心」についてのアンケート結果

県民の皆さんが食の安全・安心に関して、日ごろ感じておられることをお聞きし、今後の県政(滋賀県食の安全・安心推進計画や滋賀県食品衛生監視指導計画など)に反映するため、アンケート調査を実施しました。

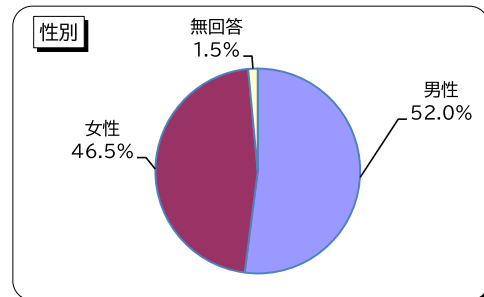
なお、このアンケートは、県民の皆様の意識の推移も参考とさせていただいておりますので、平成17年度より継続して実施しています。

- ★ 実施時期: 令和5年6月
- ★ 対象者: 県政モニター 297人
- ★ 回答数: 269人 (回収率: 90.6%)
- ★ 担当課: 健康医療福祉部生活衛生課食の安全推進室
(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

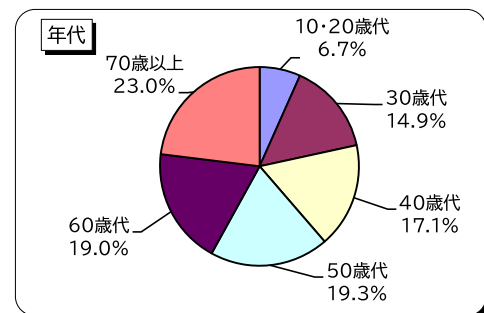
◆性別

項目	人数(人)	割合
男性	140	52.0%
女性	125	46.5%
無回答	4	1.5%
合計	269	100.0%



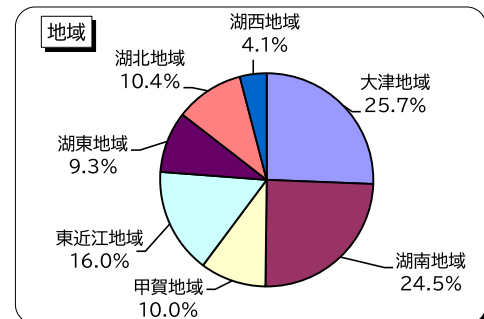
◆年代

項目	人数(人)	割合
10・20歳代	18	6.7%
30歳代	40	14.9%
40歳代	46	17.1%
50歳代	52	19.3%
60歳代	51	19.0%
70歳以上	62	23.0%
合計	269	100.0%



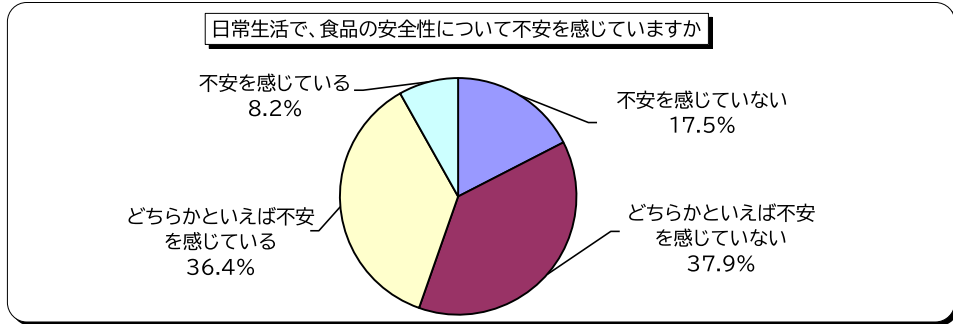
◆地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	69	25.7%
湖南地域	66	24.5%
甲賀地域	27	10.0%
東近江地域	43	16.0%
湖東地域	25	9.3%
湖北地域	28	10.4%
湖西地域	11	4.1%
合計	269	100.0%



問1 あなたは日常生活で、食品の安全性について不安を感じていますか。(回答チェックは1つだけ。n=269)

項目	人数(人)	割合
不安を感じていない	47	17.5%
どちらかといえば不安を感じていない	102	37.9%
どちらかといえば不安を感じている	98	36.4%
不安を感じている	22	8.2%
合計	269	100.0%



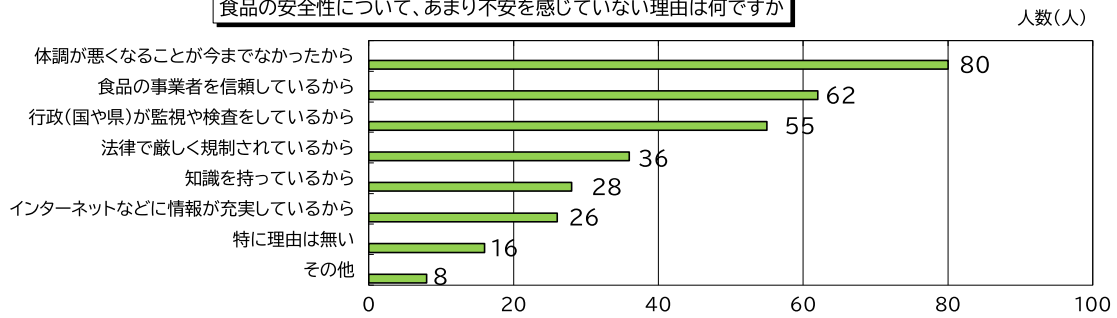
【問1で「不安を感じていない」または「どちらかといえば不安を感じていない」と回答された方にお尋ねします。】

問2 食品の安全性について、あまり不安を感じていない理由は何ですか。

(「7. 特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも可。n=149)

項目	人数(人)	割合
体調が悪くなるのが今までなかったから	80	53.7%
食品の事業者を信頼しているから	62	41.6%
行政(国や県)が監視や検査をしているから	55	36.9%
法律で厳しく規制されているから	36	24.2%
知識を持っているから	28	18.8%
インターネットなどに情報が充実しているから	26	17.4%
特に理由はない	16	10.7%
その他	8	5.4%

食品の安全性について、あまり不安を感じていない理由は何ですか

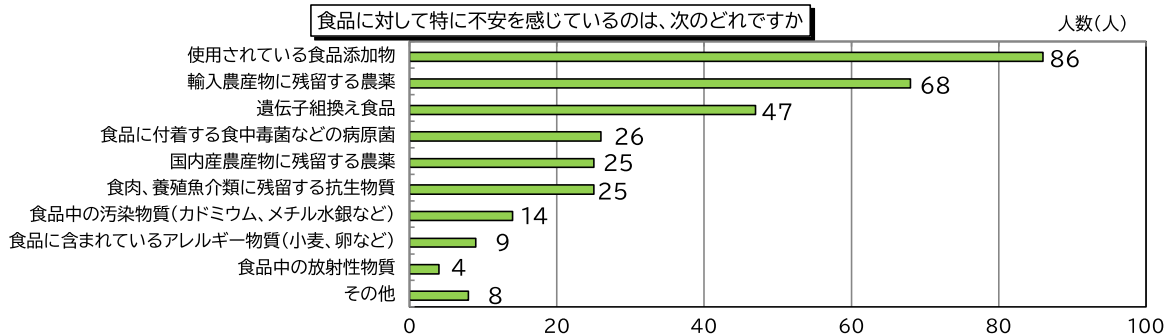


【問1で「どちらかといえば不安を感じている」または「不安を感じている」と回答された方にお尋ねします。】

問3 食品に対して特に不安を感じているのは、次のどれですか。(回答チェックは3つまで。n=120)

項目	人数(人)	割合
使用されている食品添加物	86	71.7%
輸入農産物に残留する農薬	68	56.7%
遺伝子組換え食品	47	39.2%
食品に付着する食中毒菌などの病原菌	26	21.7%
国内産農産物に残留する農薬	25	20.8%
食肉、養殖魚介類に残留する抗生物質	25	20.8%
食品中の汚染物質(カドミウム、メチル水銀など)	14	11.7%
食品に含まれているアレルギー物質(小麦、卵など)	9	7.5%
食品中の放射性物質	4	3.3%
その他	8	6.7%

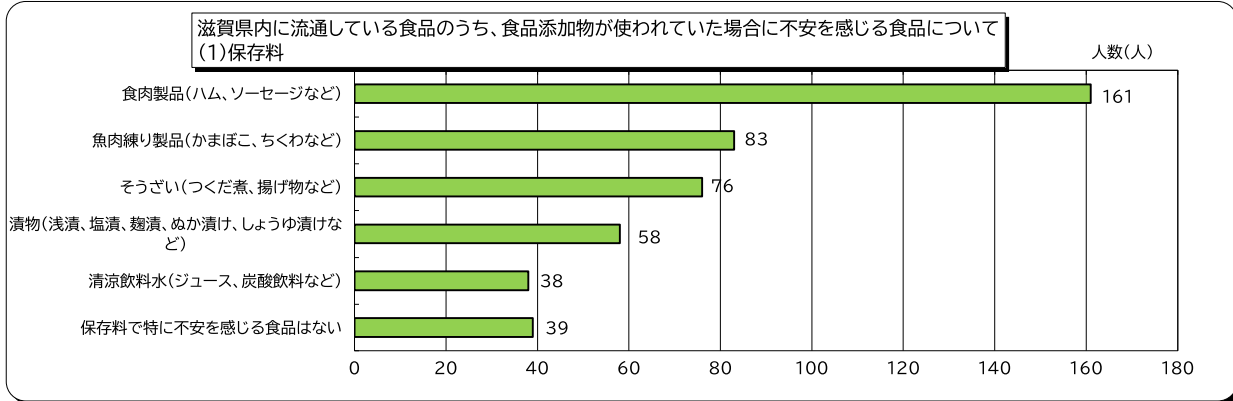
食品に対して特に不安を感じているのは、次のどれですか



問4 次の(1)～(3)の項目について、滋賀県内に流通している食品のうち、食品添加物が使われていた場合に不安を感じる食品について該当するものを選んでください。(各項目回答チェックは2つまで)(n=269)

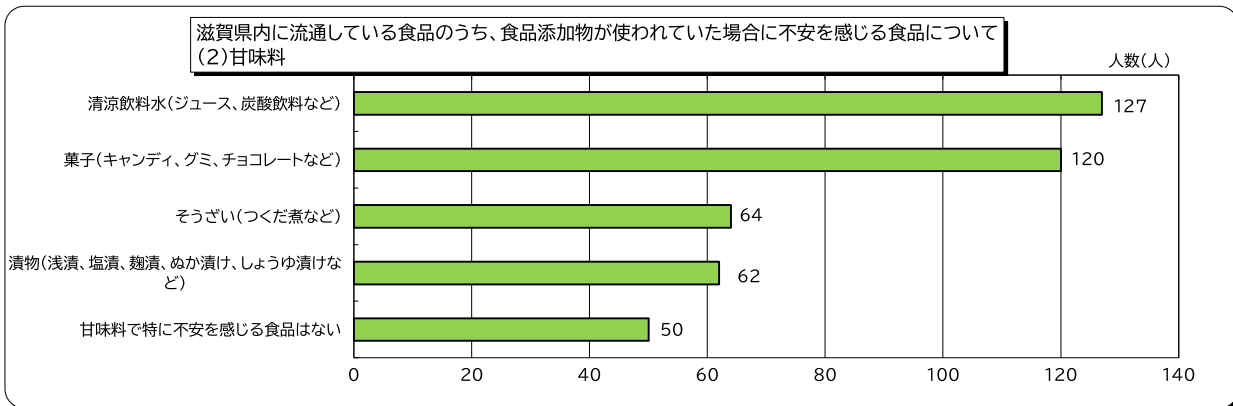
(1)保存料

項目	人数(人)	割合
食肉製品(ハム、ソーセージなど)	161	59.9%
魚肉練り製品(かまぼこ、ちくわなど)	83	30.9%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	76	28.3%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	58	21.6%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	38	14.1%
保存料で特に不安を感じる食品はない	39	14.5%



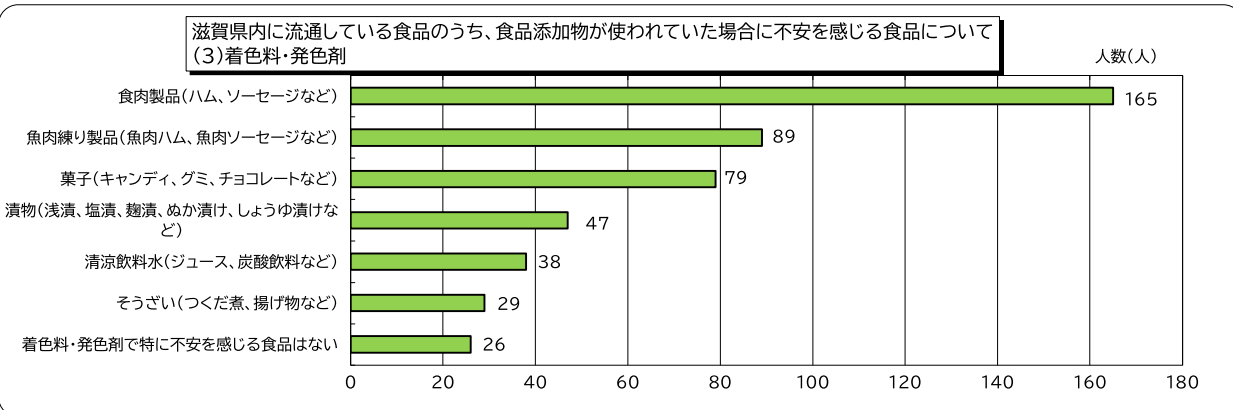
(2)甘味料

項目	人数(人)	割合
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	127	47.2%
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	120	44.6%
そうざい(つくだ煮など)	64	23.8%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	62	23.0%
甘味料で特に不安を感じる食品はない	50	18.6%



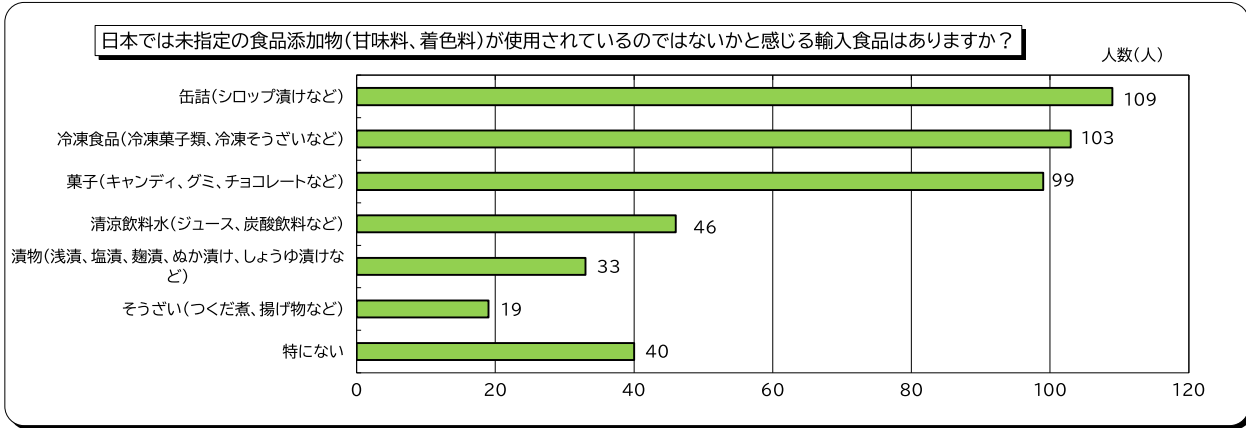
(3)着色料・発色剤

項目	人数(人)	割合
食肉製品(ハム、ソーセージなど)	165	61.3%
魚肉練り製品(魚肉ハム、魚肉ソーセージなど)	89	33.1%
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	79	29.4%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	47	17.5%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	38	14.1%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	29	10.8%
着色料・発色剤で特に不安を感じる食品はない	26	9.7%



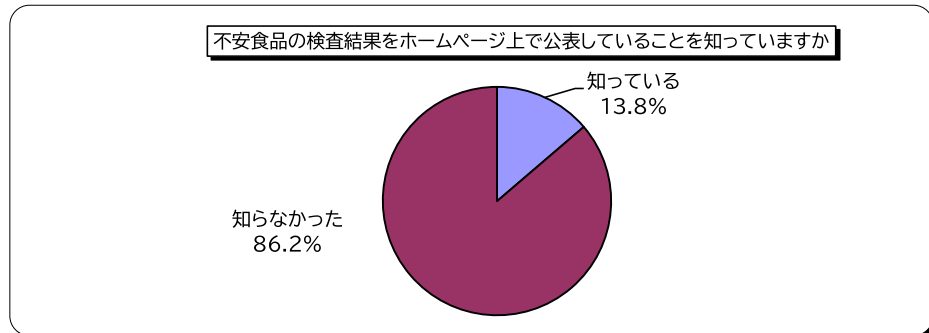
問5 日本では未指定の食品添加物(甘味料、着色料)が使用されているのではないかと感じる輸入食品はありますか？
(回答チェックは2つまで)(n=269)

項目	人数(人)	割合
缶詰(シロップ漬けなど)	109	40.5%
冷凍食品(冷凍菓子類、冷凍そうざいなど)	103	38.3%
菓子(キャンディ、グミ、チョコレートなど)	99	36.8%
清涼飲料水(ジュース、炭酸飲料など)	46	17.1%
漬物(浅漬、塩漬、麹漬、ぬか漬け、しょうゆ漬けなど)	33	12.3%
そうざい(つくだ煮、揚げ物など)	19	7.1%
特になし	40	14.9%



問6 滋賀県では、平成26年度から県政モニターアンケート結果を参考に、「不安を感じている」と回答された割合の高い食品を選んで検査を実施し、令和4年度に実施した結果についてはホームページ上に公表しています。このことを知っていますか。
(回答チェックは1つだけ。n=269)

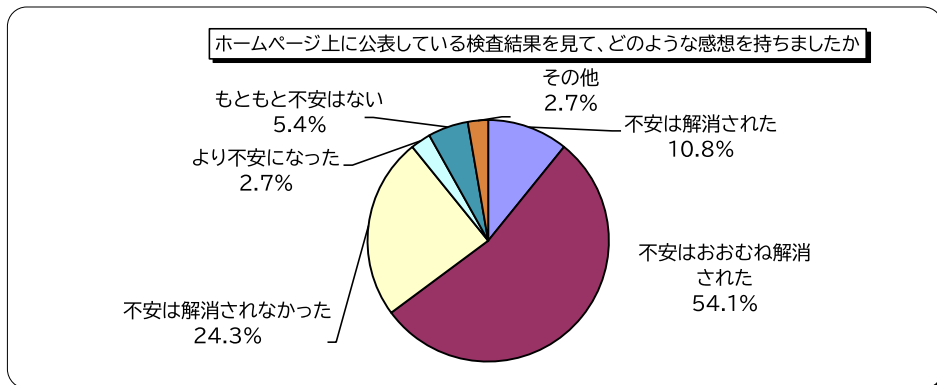
項目	人数(人)	割合
知っている	37	13.8%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	232	86.2%
合計	269	100.0%



【問6で「知っている」と回答された方にお尋ねします。】

問7 ホームページ上に公表している食品の検査結果をご覧になって、どのような感想を持ちましたか。(回答チェックは1つだけ。n=37)

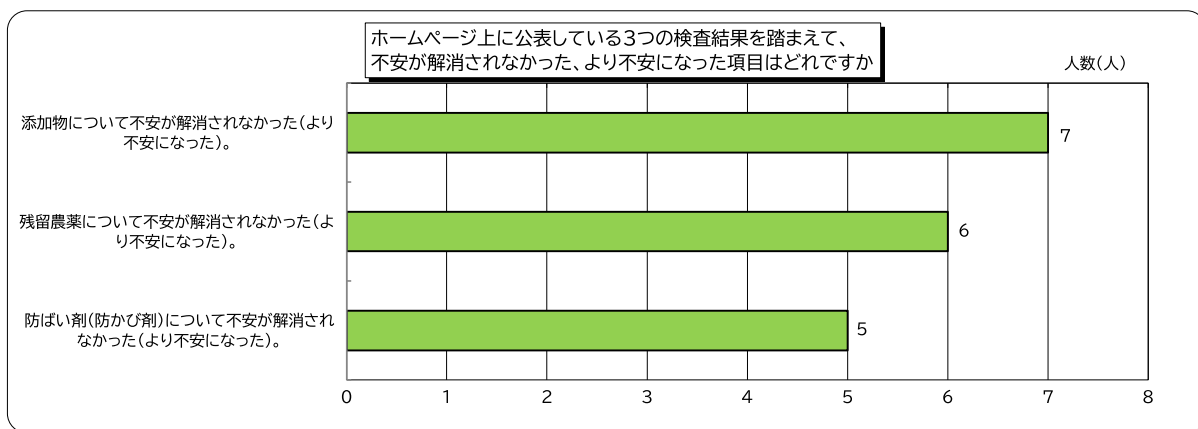
項目	人数(人)	割合
不安は解消された	4	10.8%
不安はおおむね解消された	20	54.1%
不安は解消されなかった	9	24.3%
より不安になった	1	2.7%
もともと不安はない	2	5.4%
その他	1	2.7%
合計	37	100.0%



【問7で「不安が解消されなかった」「より不安になった」と回答された方にお尋ねします。】

問8 ホームページ上に公表している3つの検査結果(残留農薬、添加物、防ばい剤)を踏まえて不安が解消されなかった、より不安になった項目を選択してください(回答チェックは3つまで)。n=10)

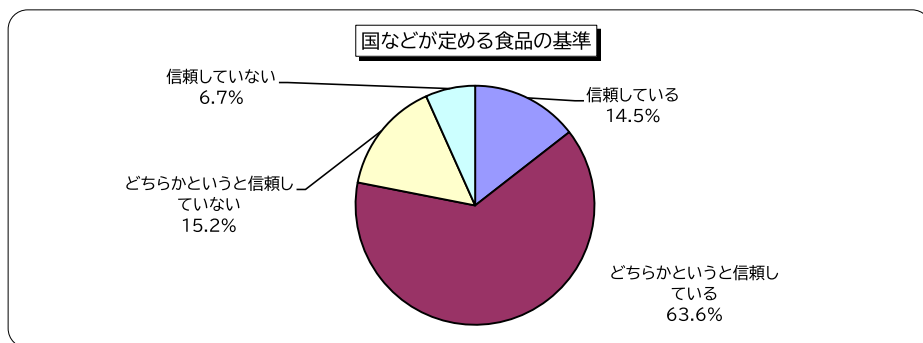
項目	人数(人)	割合
添加物について不安が解消されなかった(より不安になった)。	7	70.0%
残留農薬について不安が解消されなかった(より不安になった)。	6	60.0%
防ばい剤(防かび剤)について不安が解消されなかった(より不安になっ	5	50.0%



問9 食品にたずさわる関係者に対する信頼感についてお尋ねします。(回答チェックは各1つ。n=269)

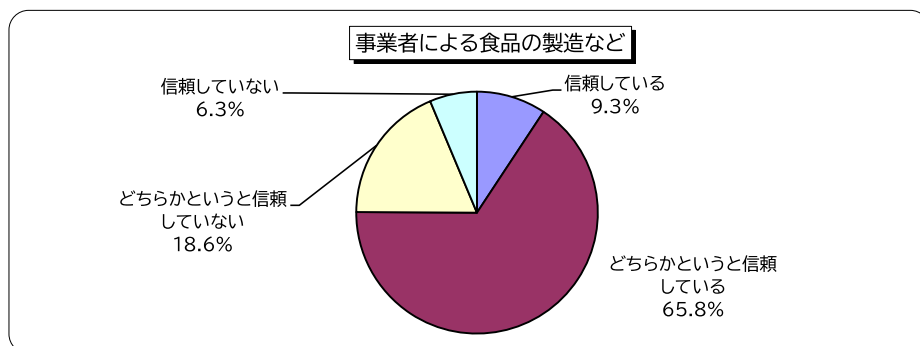
(1)国などが定める食品の基準(食品添加物の使用基準など)について

項目	人数(人)	割合
信頼している	39	14.5%
どちらかという信頼している	171	63.6%
どちらかという信頼していない	41	15.2%
信頼していない	18	6.7%
合計	269	100.0%



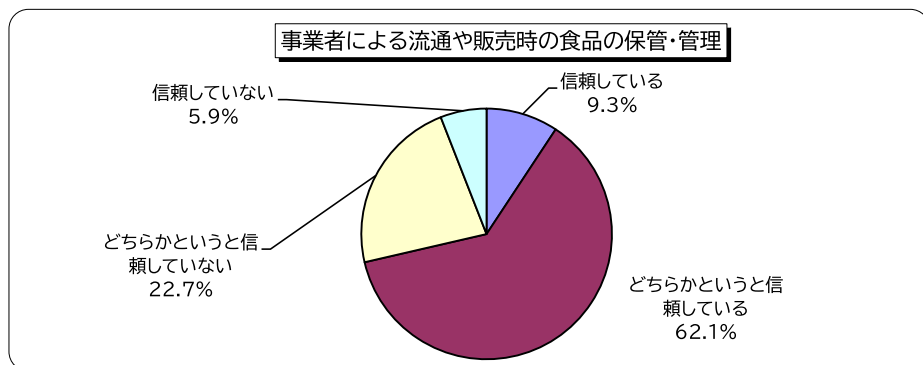
(2)事業者による食品の製造などが適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	25	9.3%
どちらかという信頼している	177	65.8%
どちらかという信頼していない	50	18.6%
信頼していない	17	6.3%
合計	269	100.0%



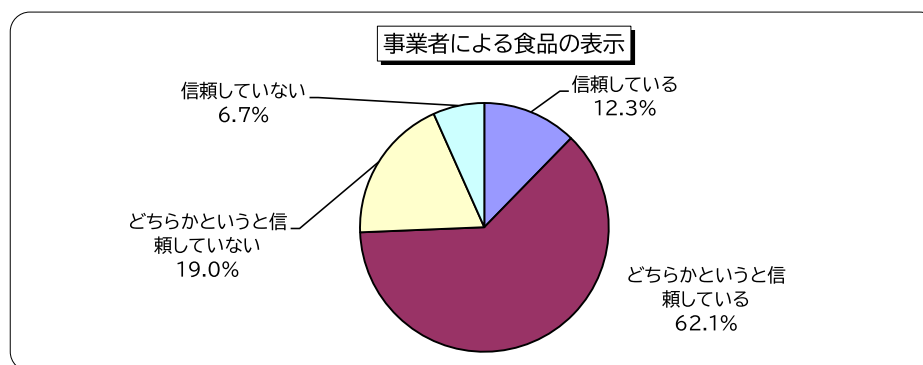
(3)事業者による流通や販売時の食品の保管・管理が適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	25	9.3%
どちらかという信頼している	167	62.1%
どちらかという信頼していない	61	22.7%
信頼していない	16	5.9%
合計	269	100.0%



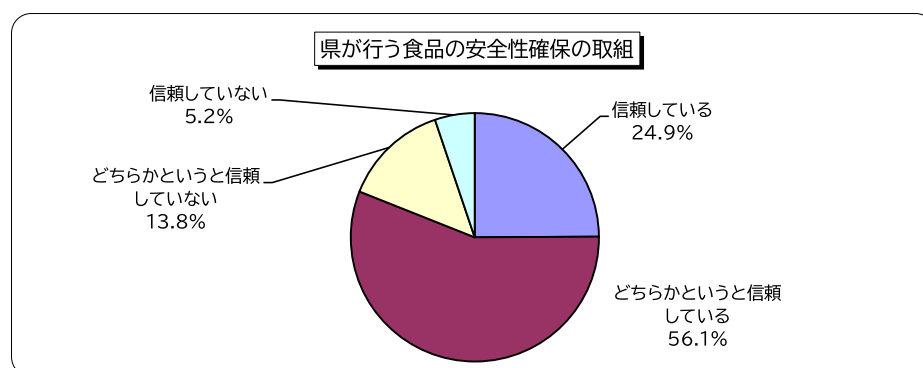
(4)事業者による食品の表示が適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	33	12.3%
どちらかという信頼している	167	62.1%
どちらかという信頼していない	51	19.0%
信頼していない	18	6.7%
合計	269	100.0%



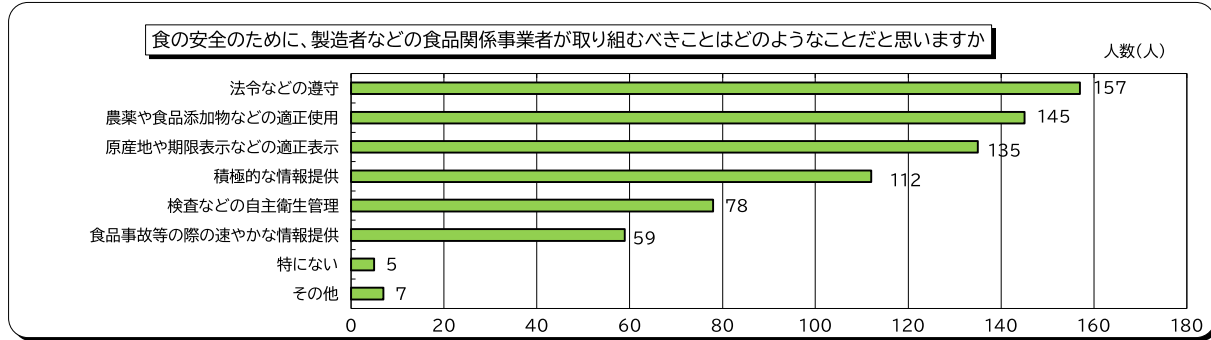
(5)県が行う食品の安全性確保の取組(飲食店などの立入検査や食品の検査等)について

項目	人数(人)	割合
信頼している	67	24.9%
どちらかという信頼している	151	56.1%
どちらかという信頼していない	37	13.8%
信頼していない	14	5.2%
合計	269	100.0%



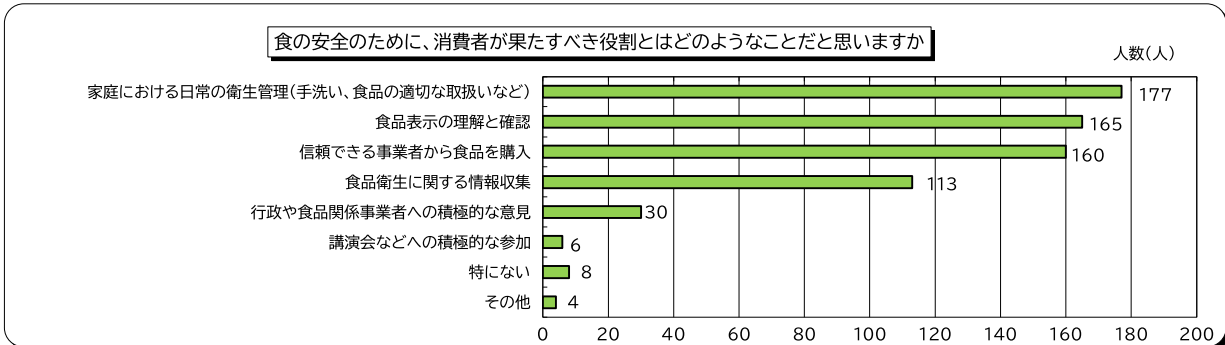
問10 あなたは、食の安全のために、製造者などの食品関係事業者が取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか。
(「7. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで。n=269)

項目	人数(人)	割合
法令などの遵守	157	58.4%
農薬や食品添加物などの適正使用	145	53.9%
原産地や期限表示などの適正表示	135	50.2%
積極的な情報提供	112	41.6%
検査などの自主衛生管理	78	29.0%
食品事故等の際の速やかな情報提供	59	21.9%
特にない	5	1.9%
その他	7	2.6%



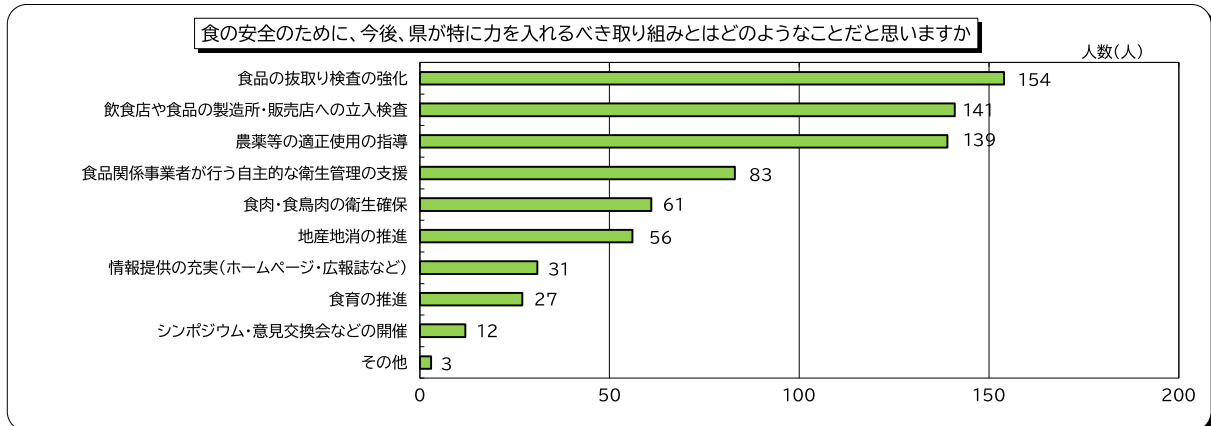
問11 あなたは、食の安全のために、消費者が果たすべき役割とはどのようなことだと思いますか。
(「7. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックは3つまで。n=269)

項目	人数(人)	割合
家庭における日常の衛生管理(手洗い、食品の適切な取扱いなど)	177	65.8%
食品表示の理解と確認	165	61.3%
信頼できる事業者から食品を購入	160	59.5%
食品衛生に関する情報収集	113	42.0%
行政や食品関係事業者への積極的な意見	30	11.2%
講演会などへの積極的な参加	6	2.2%
特にない	8	3.0%
その他	4	1.5%



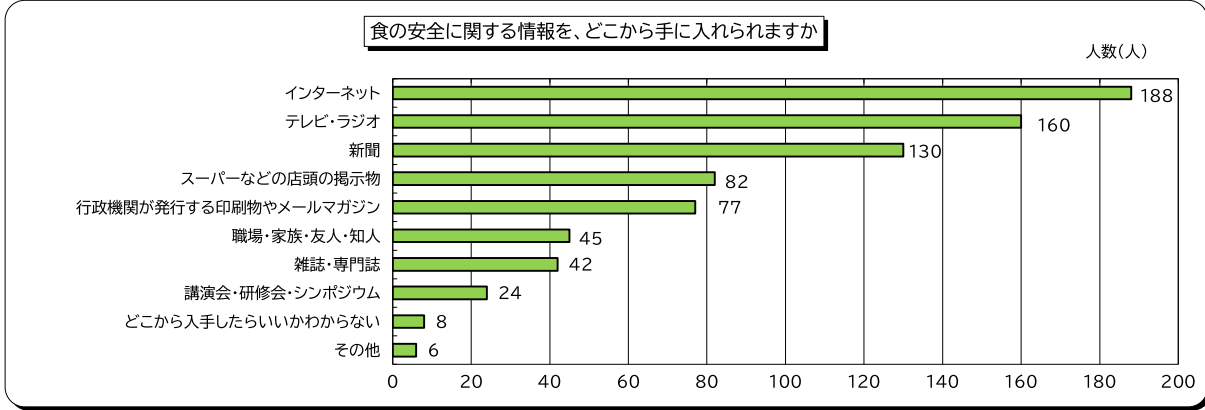
問12 あなたは食の安全のために、今後、県が特に力を入れるべき取り組みとはどのようなことだと思いますか。(回答チェックは3つまで。n=269)

項目	人数(人)	割合
食品の抜き取り検査の強化	154	57.2%
飲食店や食品の製造所・販売店への立入検査	141	52.4%
農薬等の適正使用の指導	139	51.7%
食品関係事業者が行う自主的な衛生管理の支援	83	30.9%
食肉・食鳥肉の衛生確保	61	22.7%
地産地消の推進	56	20.8%
情報提供の充実(ホームページ・広報誌など)	31	11.5%
食育の推進	27	10.0%
シンポジウム・意見交換会などの開催	12	4.5%
その他	3	1.1%



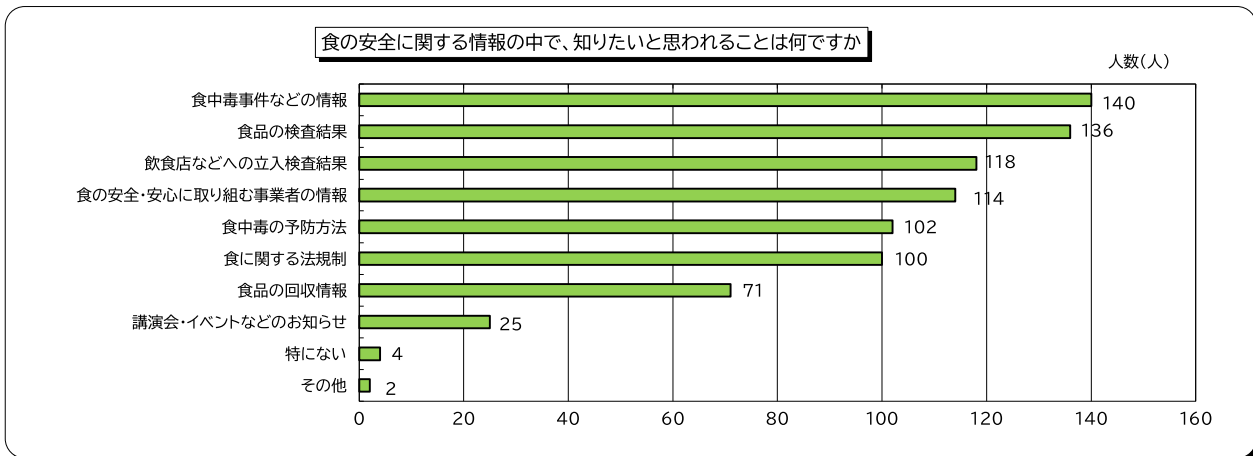
問13 あなたは、食の安全に関する情報を、どこから手に入られますか。
 (「9. どこから入手したらいいかわからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも可。n=269)

項目	人数(人)	割合
インターネット	188	69.9%
テレビ・ラジオ	160	59.5%
新聞	130	48.3%
スーパーなどの店頭の掲示物	82	30.5%
行政機関が発行する印刷物やメールマガジン	77	28.6%
職場・家族・友人・知人	45	16.7%
雑誌・専門誌	42	15.6%
講演会・研修会・シンポジウム	24	8.9%
どこから入手したらいいかわからない	8	3.0%
その他	6	2.2%



問14 あなたが、食の安全に関する情報の中で、知りたいと思われることは何ですか。
 (「9. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも可。n=269)

項目	人数(人)	割合
食中毒事件などの情報	140	52.0%
食品の検査結果	136	50.6%
飲食店などへの立入検査結果	118	43.9%
食の安全・安心に取り組む事業者の情報	114	42.4%
食中毒の予防方法	102	37.9%
食に関する法規制	100	37.2%
食品の回収情報	71	26.4%
講演会・イベントなどのお知らせ	25	9.3%
特にない	4	1.5%
その他	2	0.7%



問15 あなたが、食の安全について、日頃感じていることを自由に記入してください。(抜粋)

【主な意見】

・食の安全については以前から興味があり、食品添加物の本を読んだりして知識を得ています。購入時は原材料表示を必ず読んで添加物が少ない商品を選ぶようにして、輸入物は買いません。生産者を身近に感じる滋賀県産の農産物や湖魚は安心して買っています。環境こだわり農産物の取り組みは良いと思うので、対象品目や販売店を増やしてほしいです。

・製造業者側から提供されている情報が正確な情報か、消費者が安心して信じるには、やはり、自治体(県)による抜き打ち検査が必要と考えます。また、適切な製造業者への指導内容を随時、消費者が知ることができるようにすべきと考えます。

・国産ではない食べ物の多さ。

・滋賀県産、国産、生協など安全安心できる地元の物を食べると同時にその食品を生産してくださっている方々を応援していきたいと思っています。また、いろいろな資料を見て書があると感じる事が多い中国産の食品は買わないようにしています。資料を見ていて感じることは、害にもいろいろなランクがあり、絶対に食品に在ってはいけないもの外国の多くの国では認められていないものの情報がわかるように資料の内容が素人にもわかるようにしてほしい。

・加工品のラベル表示をもっと詳細にするべきだと思う。最低限添加物については〇〇等というような曖昧な表示でなく全部表示する必要があると思う。

・やはり生産者をチェックし、曖昧なものや輸入品は極力避ける。特に最近新たなフッ素化合物が問題視されていて、米軍の駐屯地からの漏出が問題視されている。家庭菜園を行う中では、肥料袋などのプラスチックの粉末化が気になる。

・食料自給率が低いにもかかわらず、食品がたくさん溢れている状況に疑問を持つべき。輸入品の安全性や、食料を輸入に頼ることへの危険性。さらに、加工品は保存性や品質を保つための添加物の問題。消費者のオーガニックや無添加への意識が低すぎる。国民性??でもそのような国民にしたのは、国の教育ですよね??滋賀県は山と水の恵みを多く受けることができます。県独自でもっと、循環農業や自然農法など、自然や人に優しい生産を後押しすべき。

・コンビニ弁当などの防腐剤の多さが気になります。

・表示に関する法律・規制があいまいである。使用を懸念されている物質を使用しないこと(製造者)、使用していない事を確認する(行政)、違反した製造者への罰則(司法)等、消費者が不利益を被ることが無いように、取り組んでいただきたいと思えます。

・購入する食品については、食品が完成するまでの過程を法に乗っ取って製造されているか?また、表示通りの物が使っているか?…疑えば切りがなく、信用して買わないと何も買うことが出来ません。買うときはラベルの表示を必ず見ますが、わからない項目もあり行政の管理をお願いしたいと思えます。

・重度の食物アレルギーがあるため、食品の原材料は慎重になります。その際は書かれている情報を信じるしかないありません。しかし、ごくたまに「表記ミスがありました」等の事案があるので、極力、誤記のないように切望します。

・食品を購入する場合は製造者、素材の原産地、使用調味料などを確認して購入している。そこで不正があるとどうしようもないので、製造業者の法令遵守と管理、行政の検査と指導に期待するしかない。もし不正が見つければ、広報、新聞、TV等で不正内容を公にほしい。